

自然体で等身大の言葉を味わう歌詞

あけましておめでとうございます。新しい年が希望に溢れ、心温まる年になりますように。今年もどうぞ宜しくお願いいたします!先ずは、お正月にピッタリの明るくて希望の持てる「On The Sunny Side of the Street」というJAZZの曲をご紹介します。陽の当たる道では悩みがあっても、お金がなくても平気だよ~って内容です。王道は「Ella and Basie!」ってアルバムに入ってるものかな。でもDiana Krall のも洒落てていいな。時間があつたら、ちよいと聴いてみてね。それでは私のお話しの続きを…。

青春時代の1974年夏、第8回ポプコンエントリーのお誘いがヤマハからきました。校則が厳しいとかお叱りを受けたなんて事はスッカランに忘れてる私。新しくワクワクする話がやって来たので夢中でしたが、困った現実がありました。作詞と唄はどうにかなりそう、でも頑張っても踏ん張っても曲が書けなかった。ビギナーズラックで始まった私は自分の無能さに泣く日々。そこで、良い曲を誰かにお願いしようと考えました。でもシンガーソングライターで

あることから逃げることになるの? うーむ…。

ところで現在私が唄っているJAZZっていうジャンルは、ほとんどの曲が昔の歌なので日本風という「カバー」なんです。一つの曲をいろんな人が自由に演奏するので、同じ曲でもいろんなスタイルがあって面白いですよ!古くから歌い継がれてきた素晴らしい曲が星の数ほどあるんですね。皆さんがユーミンのアレを唄いたいとか、陽水のコレを唄いたいとか思う気持ちと同じです。そして今の私がそうであるように、高校生の私も同じだったから、ポプコンに応募する曲は共作で良い曲を作る道を選びました。何かにこだわるのなら、いちばん大切な事にこだわる…そう考えました。ちょうどその頃、シンガーソングライターの「木戸やすひろ」さんが東京から地元北九州市に戻ってて、作曲をして頂けることになりました。木戸さんは私より大人で、才能に溢れてて、東京から帰ってきてカッコイイし、穏やかで優しく、みんなの憧れ!もちろん私も!スタジオでのリハーサルの時は尊敬とドキドキで汗だくでした。作っ



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

てくれた曲は木戸さんらしいシンプルでセンチメンタル、胸キュンで素敵でした。そのメロディーを感じることに集中して、自然体で等身大の言葉を味わう歌詞にしました。1人で苦労するって必要な事なんだけど、誰かの力を借りたら世界がいつぱんに大きく広がった、そんな楽しさを知りました。実はJAZZも同じ感じなんです。いつだってメンバーの誰かがその場で助けてくれたり刺激してくれたり…ジャズってそんな音楽なのです。

さて!いそいそとポプコンにエントリーをして、九州大会までは学校に見つからず順調!九州大会でグランプリを獲得!全国大会(静岡のつま恋本選会)に行くよ~!いや待て待て、どうしよう!学校をお休みしなきゃ本選会に行けないよ~。困った(泣)